

なかよく みんな えがおで



あなたと町を結ぶ

広報

なみえ

2023

No.684

毎月1回1日発行



今月の表紙 活気あふれる請戸の風物詩 (12月10日(土) 請戸魚市-請戸漁港)

- 2 新年のご挨拶
- 4 地域で取り組む鳥獣対策
- 6 みんなでともに乗り越えよう
- 9 浪江町特定復興再生拠点区域の住民説明会
- 10 保健だより
- 11 法律知識
- 12 まちの話題/なみえ創成通信
- 14 おらほの地域から元気発信
- 15 情報ぴっくあっぷ
- 24 ふくしま駅伝大会町の部入賞および選手の募集/
なみえプロモーション課通信 vol.16

1月1日(日)は、あるけあるけ初日詣大会だよ

ひとつ今年もよろしく願いいたします

昨年はお世話になりました、
ありがとうございます



うけどんの母



うけどんの父



浪江町イメージアップ
キャラクター うけどん

あけおめ〜



浪江町長

吉田 栄 光



明けて令和5年 ご創建にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年一年の皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

皆さん、どのようなお正月をお過ごしでしょうか。ふるさとの復興は、未だ困難な道であります。素晴らしい町を創るため、皆さんと共に手を取り合い、歩んでまいりますので、本年も何卒よろしくお願いいたします。

昨年を振り返って

昨年における重要な出来事として「福島国際研究教育機構（FIRE）」の立地決定が挙げられます。この施設は、福島イノベーション・コースト構想の司令塔として、また、町内に留まらず、福島県全体の復興を支えるエンジンとして、創造的復興の中核に育てていかなければなりません。世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指し、まずは国や県、周辺自治体とともに計画を進めてまいります。

そしてコロナ禍が続く中、3年ぶりに相馬野馬追が通常開催されるなど、少しずつ町民同士の絆を深める取組が再開されました。また、子ども達との運動会や十日市祭など、

この上ない歓びでありました。**帰還困難区域について**

津島、末森、室原の特定復興再生拠点区域では、昨年9月に準備宿泊が開始され、3月の避難指示解除を目指して準備が進んでいます。一方、拠点区域外については、国から示された「2020年代をかつて、帰還意向のある住民が帰還できるよう、避難指示解除の取組を進める」との方針に基づいて帰還に向けた意見交換会が開催され、お一人お一人から安心して生活するために必要な除染範囲についてご意見を伺いました。これからの帰還を希望される皆様の方が安心して生活できるよう、町はしっかりと国との協議を進めていくとともに、地域の復興に向けた具体的な方策を皆さんと一緒に検討してまいります。

ゼロカーボンシティ（脱炭素の町）実現に向けて

町は、福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）で製造される水素を中心として、再生可能エネルギーを活用したゼロカーボンシティの実現を目指しています。既に町内では、先進的な実証実験が多数実施されており、特に

水素の実用化においては世界をけん引しています。

世界的建築家の隈研吾氏らとともに進めている駅前など中心市街地の再開発においても、町内で加工された木材を使った建物や、再生可能エネルギー地産地消の仕組みを盛り込んでいます。一団地事業として商業地域の再開発を進め、この地域から町内全体に賑わいを波及させてまいります。

福島国際研究教育機構立地の町として、環境に配慮した豊かで暮らしやすい町づくりを進めるとともに、浪江の子ども達が自分たちのふるさとを誇りに思うことができるよう、ゼロカーボンシティ実現に向けた先進的取組を世界に発信してまいります。

これからの町づくり

町長就任から5か月が過ぎ、復興に向けた多くの課題も見えてまいりました。

農業発展のためには、収益性向上が重要です。そこで初期負担軽減のために育苗施設を建設しています。さらに、競争力の高い作物を生産するため、耕畜連携による地力回復を目指して復興牧場の建設に取り組んでいます。最新の技術を用いた防臭対策など地

元の負担を軽減するとともに、併設される研究施設での研修など、酪農業の振興とともに交流人口拡大に貢献してまいります。

皆様にご不便をおかけしている医療・介護の面では、特に北双地域における相互連携を進めてまいります。各診療所の位置づけを明確にし、地域医療の中核として県立大野病院の再開を県に対して求めていくとともに、介護施設についても周辺の町村と連携、機能分担を図ることにより、地域として機能の充実を目指していく所存です。

結びに

「子ども達の笑顔は私の宝です。」

町長として、子ども達の笑顔を守り、次の世代にふるさとを繋いでいく、その責任の重さを実感しています。これから私は、全身全霊をかけて、全力でその責任を全うし、必ずふるさとの復興を成し遂げます。

令和5年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



浪江町議会議長

平本佳司



新年明けましておめでとう
ございます。議会を代表しま
して、謹んでご挨拶を申し上
げます。

皆様におかれましては輝か
しい新年をお迎えのことと心
よりお慶び申し上げます。ま
た、日頃より議会への深いご
理解と、議会活動への温かい
ご支援・ご協力に対し、議員
一同、厚く御礼を申し上げます。

まず初めに、新型コロナウイルス
イルス感染拡大により様々な
影響を受けられた方々、不安
の中におられる方々に対しま
して、心からお見舞いを申し
上げます。

昨年を振り返りますと、一
昨年に引き続き新型コロナウイルス
イルス感染拡大による影響
で、活動の制限、自粛など非
常に厳しい議会運営を迫られ
た1年でありました。皆様に
おかれましては、なかなか心
の晴れない生活を強いられ、
様々な面でご苦労された1年
だったのではなかったかと思
います。

このような中、議会改革の
一環として、事務の効率化、

ペーパーレス化を目指し、議
員向けタブレット端末の導入
を行い、令和4年9月定例会
からの運用を実現したところ
であります。今後も、議会改
革の足を止めることなく様々
な課題にチャレンジしてまい
りたいと思います。

さて、東日本大震災と東京
電力福島第一原子力発電所事
故からまもなく12年を迎えま
す。議会としては町民の皆様
がどのようなことを感じ、何
を求めているのかを意識し、
町民の声を、町はもちろん国
や県などにも届けるべく、努
めてまいります。

しかし、その一方で町民の
皆様から、「議会活動が見え
ない」、「議員が多すぎる。」
などの厳しいご意見を数多く
頂戴しております。

それらのご意見を踏まえま
して、昨年は、十日市祭の場
で町民の皆様の声を直接聴く
機会を設けました。本年も町
民の皆様の声を直接聴く機会
を少しでも多く設け、議会が
すべきことを実践し、町民に
求められていることを一つで
も多く実現できるように、議員

一同、精一杯努力してまいり
ます。

また、令和4年12月定例会
で議員定数を削減し、これま
での16名から12名としまし
た。次回の選挙以降は、12名
の体制となりますので、これ
まで以上に議員同士、切磋琢
磨して、二元代表制の一翼を
担う議会として、常に町民に
寄り添い、わかりやすく開か
れた議会の構築に努めてまい
る所存であります。今後とも
町民の皆様のご指導・ご鞭撻
をお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様に
とって良い年になりますよう、
心からご祈念申し上げます。新
年のご挨拶とさせていただきます。



浪江町議会議員
(議席番号順)

武藤晴男	紺野豊	吉田邦弘	小澤英之	半谷正夫	紺野則夫	佐々木茂	山本幸一郎	高野武	渡邊泰彦	松田孝司	佐々木勇治	山崎博文	紺野重
------	-----	------	------	------	------	------	-------	-----	------	------	-------	------	-----



2021年8月撮影

地域で取り組む 鳥獣対策

鳥獣対策の第一歩は、鳥獣被害を知ることから

鳥獣被害の最前線は、私たち

浪江町の鳥獣被害についてご存じでしょうか。

鳥獣に関する町への通報はイノシシに次いでニホンザル、中型獣（アライグマ、ハクビシン、タヌキ）の順に多くありました（下表参照）。有害鳥獣は私たちの農作物をはじめとした財産を横取りするだけでなく、生活に不安を与える地域課題となっています。

鳥獣被害はなぜおきるのか

イノシシやニホンザルが人里まで出没するのは、山に食べ物が無い、住処がないからではありません。

農地や住宅の庭で手軽に「美味しい食べ物を確保できるから」です。鳥獣被害に合う地域は動物たちにとって、美味しい食べ物が、簡単に手に入る楽園となっているのです。



鳥獣対策の鍵は「地域の力」

鳥獣被害を低減させるには「自分の土地は自分で守る」、「地域はみんなで守る」という意識が重要となります。一人ひとりの「点の対策」が繋がって、線となり、面と線を繋ぐことで、地域という「面での対策」となります。

動物たちにとっては、生ごみや放置された柿も作物と区別なく魅力的な「エサ」になります。人にとって価値のある作物だけでなく、地域単位で「エサ」となるものを減らし、動物たちがこの地域では簡単に食べ物が手に入りやすいと認識させることが重要となります。

鳥獣対策は主に「被害防除」「環境整備」「捕獲」の3種類に分類され、こ

こでは、個人でも対策のしやすい「被害防除」「環境整備」について紹介します。



放置された作物を食べるイノシシ
2019年11月撮影

令和3年 鳥獣に関する通報（抜粋）	件数
捕獲要請（イノシシ）	40件
家屋・ほ場・敷地侵入（イノシシ）	6件
ほ場食害・追い払い要請（ニホンザル）	4件
中型獣敷地内侵入、捕獲依頼など	11件

	ニホンザル 捕獲頭数	イノシシ 捕獲頭数
令和3年	17頭	467頭
令和2年	9頭	468頭
令和元年	0頭	752頭

危機管理意識を高めよう! 地域の鳥獣対策を紹介

環境整備

自分にできることから

秋元 正美さん
南相馬市原町区に在住。
浪江町で仕事をしながら、
川添にある自宅の土地を
管理しています。



鳥獣被害は突然に

朝夕の仕事の合間に浪江町の自宅跡地で土地を管理していた秋元さん。イノシシが昨年6月から、近隣の「やぶ化」した土地で泥遊びしている姿を見かけるようになっていた。いつものように自宅へ戻ると、震災以前に植えて残っていた山芋やチューリップなどの球根が狙われて掘り返されていることに気が付き、対策の必要性を肌で感じたそうです。

農家から学んだ「環境整備」

仕事で知り合った農家さんから「山芋の根やチューリップの球根な



刈った草は薄く広げる

どは処分すると良い」と助言を受け、その他にもイノシシを寄り付かせないため、草刈りを行っている秋元さん。「草の背丈が40cmくらいの時に草刈りをする」と楽に作業ができます。また、刈った草は薄く広げて枯れるまで寝かせることが重要です。1か所にまとめると、ミミズが発生し、そのミミズを食べるイノシシが来てしまいます」と、経験を語りました。

一人ひとりの対策が必要

近隣で帰還した人が少なく、土地が放置されている状況の中、「土地所有者一人ひとりが土地を手入れして、自分たちの土地に愛着をもつこと」と、地域で土地を守る意識が必要だと教えてくれました。

被害防除

経験と知恵を

活用する

渡部 昇さん・**美代子**さん
4年前に本宮市から北幾世橋に
帰還しました。自宅敷地内で家
庭菜園を行っています。



自宅の敷地は穴・穴・穴

渡部さんご夫婦は浪江町に帰還後、目にしたのはイノシシが掘り返したいくつもの穴でした。「木の生えていない、地盤の緩い箇所が多く掘り起こされていました」と、当時を振り返ります。

経験を活かした「被害防除」

震災前に大根農家だった渡部さんは「イノシシは人の声に敏感に反応するんだ」と、農家時代の知識を応用した「ラジオ」を使った対策を紹介してくれました。イノシシの侵入経路となる場所

にラジオを設置し、夕暮れに電源をオン。雨に濡れないよう「自作のラジオボックスに入れて、吊るしておくんだ」と、ほほ笑みます。

地域に合わせた対策

これまでの経験を活用した被害防除の対策を行う渡部さん。ラジオの電源をつけ忘れて被害に合うこともありましたが、「ラジオを流してからは、イノシシの被害はなくなりました」と、手ごたえを実感しています。何度も試行錯誤を繰り返した渡部さんは「どの対策も地域や状況によって効果が変わるので、まず人の対策を知って真似してみることで」と

と個人ができる対策のコツを教えてくださいました。



自作のラジオボックス

有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。皆さんの鳥獣対策がありましたら、是非お話しをお聞かせください。

農林水産課農林水産係
TEL 0240 (34) 0246



住んでいたいまち
住んでみたいまち

なかよく みんな えがおの
花咲くまち なみえ

町が行っている取組についてお知らせします。

みんなで
ともに
乗り越えよう

浪江町除染検証委員会が検証結果報告書を提出

11月21日(月)、第4回除染検証委員会が開催され、来年春の避難指示解除を予定している特定復興再生拠点区域についての除染状況、除染後の放射線量率などを検証し、同日、結果報告書を吉田栄光町長へ提出されました。

報告書では、「除染が概ね完了し、環境省の実施した測定結果によると、当該区域の空間線量率は除染前の平均値より約64%の低減がされており、避難指示解除の目安となる年間20mSvを十分に下回ることが確認された。主な生活圏となる地域の空間線量率の低減が図られており、放射性物質による汚染環境は着実に回復している。」と評価され、今後、環境中の放射線モニタリングや住民の被ばく線量の管理、リスクコミュニケーション体制の継続、必要に応じた追加除染の対応など『実施すべき対策』を提言されました。



検証結果報告書を提出する塚田祥文委員長

☎ 住民課除染環境係 ☎ 0240(34)0228

浪江町の復興加速に向けた協議会を開催

11月24日(木)、浪江町役場において、「第8回 浪江町の復興加速に向けた協議会」を開催し、太田房江原子力災害現地対策本部長、竹谷とし子復興副大臣が出席しました。

本協議会では、これまでの復興に向けた取組による成果を確認し、町からは議会とともに、これからの課題として帰還困難区域の再生、特定復興再生拠点区域の継続的な支援、福島国際研究教育機構も含む中心市街地の一体整備などを要望しました。



浪江町の復興加速に向けた協議会

☎ 企画財政課企画調整係 ☎ 0240(34)0240

浪江町タマネギ生産組合が南あわじ市を視察訪問

11月10日(木)～12日(土)、一般財団法人ワンアースが実施する「東北復興宇宙ミッション」事業の一環として、浪江町タマネギ生産組合（組合長 松本善郎さん）がタマネギ生産の先進地である兵庫県南あわじ市の個人農家や農業法人、兵庫県農業技術センターなどを訪れ、育苗や乾燥貯蔵の方法、病虫害対策などについて学びました。

また、南あわじ市長を表敬訪問し、町の復興や農業再生の取組を報告するとともに、タマネギ生産の課題などについて意見交換を行いました。



先進地での育苗方法を学ぶ



南あわじ市守本憲弘市長(左)から「淡路島たまねぎ」をいただきました

問 農林水産課農政係 TEL 0240(34)0245

浪江のお米、収穫祭を開催

10月28日(金)～30日(日)、東京農業大学世田谷キャンパスにおいて収穫祭が開催され、10月29日(土)には苅宿地区においても収穫祭が開催されました。

東京農大生が苅宿ふれあいファーム（代表 松本伸一さん）指導の下、苅宿地区の圃場で田植えや稲刈り作業などを学んだことをきっかけに、新たに苅宿産のお米が東京農業大学収穫祭の販売商品に加わりました。

東京農大生は睡眠時間を削りながら工夫を凝らして準備を進め、苅宿産のお米は浪江町と東京農業大学のつながりが末永く続くよう願いを込め「なみえつながる米」として販売されました。また、なみえつながる米、えごまソルト、えごま味噌からなる「学生ごはんセット」は、あっという間に売切れとなりました。

苅宿地区では稲作を再開してから4年が経過し、目標としていた収穫祭を今年初めて開催できました。収穫祭では苅宿産のお米を使ったおにぎりや豚汁などが無料で振る舞われ、秋の味覚を楽しむ1日となりました。

今後も、東京農業大学と当町の連携を深め、農業の復興に取り組みます。



苅宿収穫祭



東京農大収穫祭

問 農林水産課農政係 TEL 0240(34)0245

ふれあいニューススポーツ交流大会チャンピオン大会の 優勝報告

10月25日(火)、郡山市において「ふれあいニューススポーツ交流大会 チャンピオン大会」が開催されました。この大会は県内で地区優勝をした6チームが参加し、全3種目(囲碁ボール、スカットボール、ポッチャ)で優勝を争い、浪江町老人クラブ連合会(会長 小椋正吉さん)が初代チャンピオンとなりました。

11月4日(金)、浪江町役場において浪江町老人クラブ連合会が総合優勝したことを吉田栄光町長へ報告しました。



吉田栄光町長へ優勝報告
左から 半谷球代さん、小椋正吉さん、高木孝さん

☎ 浪江町社会福祉協議会 ☎ 0240(34)4685

農業委員会だより

農地転用の際は現地調査を行います

農業委員会では農地転用の審査にあたり、現地調査をします。現地調査では申請地において会長、担当農業委員、担当地区の農地利用最適化推進委員および事務局で境界の確認や、申請者から転用の事業計画や周辺農地へ悪影響を及ぼさないための措置などの説明を受けることとなっています。詳細については、事務局までお問合せいただくか、ホームページをご確認ください。



農地転用による現地調査

『福島県農業会議永年勤続農業委員・農地利用最適化推進委員表彰、を受賞』

11月10日(木)、令和4年度福島県下農業委員会大会において、農業委員の紺野宏さん(津島地区)が永年勤続農業委員・農地利用最適化推進委員として表彰されました。

紺野さんは、平成20年7月から現在まで14年余りの長きにわたり農業委員および農地利用最適化推進委員として町の農業振興にご尽力いただいた功績が認められ、今回の受賞となりました。



功績をたたえ

2月総会に提出する議案の申請締切日は、2月1日(水)です。お早めにご相談ください。

☎ 農業委員会事務局(農林水産課内) ☎ 0240(23)5706

ここから下は広告です。

浪江町特定復興再生拠点区域の 住民説明会

町では、浪江町特定復興再生拠点区域について、3月末までの避難指示解除を目指し、除染、生活インフラなどの環境整備の取組を行ってきました。

この度、除染などによる空間線量率、生活インフラの復旧の状況などについて、住民説明会を次のとおり開催しますので、ご参加ください。

説明会開催日時、各会場

開催日	時間	会場および住所
1月30日(月)	10時30分	コラッセふくしま 4階 多目的ホール 住所：福島市三河南町1番20号
	14時30分	TKPガーデンシティ仙台 ホール21A 住所：仙台市青葉区中央1-3-1 AER21階
2月1日(水)	10時30分	いわき市文化センター 1階 大講義室 住所：いわき市平字堂根町1-4
	14時30分	ビッグパレットふくしま 3階 中会議室 住所：郡山市南二丁目52番地
2月3日(金)	13時	東京国際フォーラム 4階 ガラス棟内 G409会議室 住所：東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
2月5日(日)	10時30分	二本松御苑 ^{かしよく} 華燭の間 住所：二本松市金色久保222-7
	14時30分	秋桜アリーナ（浪江町地域スポーツセンター） サブアリーナ 住所：浪江町大字権現堂字下馬洗田5-2

問 企画財政課企画調整係 TEL 0240(34)0240

ここからは広告です。

令和4年度 県民健康調査 「健康診査」のご案内

福島県と福島県立医科大学では、県民の皆さんの健康を守り、将来にわたる健康増進につなげていくため、健康診査を実施しています。

16歳以上の人を対象とした県内の集団または個別健診を令和5年1月から3月に実施予定です。対象の人には、受診のご案内を令和4年12月に発送しています。ご自身の健康状態を把握する機会ですので、ぜひ受診をしてください。健診費用は無料です。

※浪江町の特定健康診査・総合健診において上乗せ項目を受診した人は対象外です。

※県外にお住まいの人には県外健診のご案内を送付しています。県内で受診を希望される場合は、放射線医学県民健康管理センターまでご連絡ください。

福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター
TEL 024(549)5130

(土日祝日/年末年始を除く9時~17時)



うけどんの

健康知恵袋



「食」のシリーズ9回目 食品備蓄してますか？

いざという時のために！食品の備蓄を簡単に、無理なく始めてみませんか？

普段食べているカップめんや缶詰、インスタント味噌汁など少し多めに買い置きし、賞味期限の古いものから消費し、食べたならその分を補充していただけます。

蓄える→食べる→補充することを繰り返しながら一定量の食品が備蓄されている状態を保つので、ローリングストック法とよべます。



保健 だより



問 健康保険課健康係 TEL 0240(34)0249

ノルディックウォーキング 体験会を開催

11月15日(火)・22日(火)・12月2日(金)、秋桜アリーナ(浪江町地域スポーツセンター)においてノルディックウォーキング体験会を開催しました。ノルディックウォーキングは、ポールを使用することで、エネルギー消費量が通常のウォーキングに比べ平均20%上昇すると言われています。

参加者は日本ノルディックウォーキングフィットネス協会の皆川和夫先生のご指導を受け、ウォーキングを楽しみました。



広げよう
ママ友の輪

1月と2月の かもめっ子クラブ



◆コスモスふれあいセンター(郡山市)
1月12日(木) 10時~

そのほかの教室は冬季休みのため、次回は3月の開催となります。

法律知識 No.71

日常生活の中で起こる可能性のある様々な事例に対して、法律に基づいた対応策を紹介します。



弁護士 大橋 征平
総務課 主幹
(所属：福島県弁護士会)

Q

無人レジでの支払時に小銭を大量投入し、両替をした場合は罪に問われますか。



A

通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律では、同一額面の硬貨は、20枚までしか通用力がないと定められています。1円硬貨であれば、お店は、20円を超える分の受け取りを拒絶することができます。実際に、一定以上の硬貨の使用をしないよう求めているスーパーもあるようです。お店の同意が無い限り、法律上は、小銭の大量使用は認められないことになっており、両替目的で大量の小銭を投入することは避けた方が良いでしょう。

両替目的の小銭の大量投入が罪になるかですが、両替のため小銭を大量にレジに入れること自体は犯罪とはされていません。しかし、無人レジに設置してある自動釣銭機の硬貨収容枚数は、メーカーにもよりますが、1種類の硬貨につき200枚程度となっており、硬貨収容枚数を超えて硬貨を入れてしまうと、機械が停止することがあるようです。お店の要請を無視して、大量の硬貨を釣銭機に投入し、釣銭機を停止させた場合、業務妨害罪が成立してしまう可能性があります。度を越えた小銭の投入は罪となる可能性があることを認識しておいた方が良いでしょう。

各出張所で法律相談会を
開催しています
(各回ともに13時～16時)

開催日

- 福島出張所 1月10日(火)、2月6日(月)
- いわき出張所 1月16日(月)、2月14日(火)
- 二本松出張所 1月23日(月)、2月20日(月)

まちの話題



浪江町公式
ツイッター



なみえ
チャンネル



浪江町公式
フェイスブック



浪江町公式
インスタグラム

復興なみえ町十日市祭が3年ぶりに開催

11月19日(土)・20日(日)、秋桜アリーナ(浪江町地域スポーツセンター)において「復興なみえ町十日市祭」が3年ぶりに開催され、約16,000人が来場しました。震災後初めて「子供神輿」が行われ、力強く神輿を担いだ子供たちの掛け声「わっしょい」が会場に響きました。

浪江町の特産品などが約100店舗並ぶ「浪江名店街大露店市」、歌やご当地キャラステージ、伝統芸能といった多彩なステージイベントのほか、えごまの種飛ばし大会など様々な催しが行われ、賑わいを見せました。

また、ご当地キャラステージでは、二本松市から「菊松くん」と岡山県赤磐市から「あかいわももちゃん」が駆け付け、うけどんのステージを盛り上げてくれました。

20日(日)には人気TikTokerの「みいるか、さん」が浪江町を訪れ、十日市祭の様子をライブ配信しました。十日市祭を楽しみながら、得意のライブペインティングで浪江町の魅力を発信し、ライブ配信はおよそ8万人が視聴し、心温まるたくさんのコメントがありました。



みいるかさんが描いた
イルカちゃんとうけどん



浪江冬の風物詩「ガニ汁」と「イカ焼」

みいるかさんが
浪江町に訪れた様子は
コチラ



みいるか

「みいるか、に恋する」みいるか、大好き
ゆるふわイラストレーター & TikToker

フォロワー数43万人以上

クリスマスコンサートを開催

12月4日(日)、秋桜アリーナ(浪江町地域スポーツセンター)において「地域チャレンジ クリスマスコンサート」が開催されました。

浪江町出身で、ピアノ奏者の吉田昂城さん、星美南子さん、添田哲平さんとフルート奏者の菅野桃香さんらによるピアノ(ソロ)、フルートとのアンサンブル、お話しとフルート・ピアノのアンサンブル、4人で1台のピアノを弾く演奏もあり、盛りだくさんの内容で師走のひとときを心地よく楽しみました。



4人でアンサンブル

感謝の気持ちを届けました

11月24日(木)、なみえ創成小学校の5年生が町長室を訪れ、町のために頑張っている吉田栄光町長に木製のうけどんジグソーパズルを届けました。

5年生は、「なみえの自然を守るんジャー」と題し、きれいな水を作る森林について学び、その木の役割や良さに関心を持ち、探究心を持って学びを深めました。

木の癒やし効果や、炭素を貯める働きを周りの人たちに伝えるために、児童は手作りで木製のジグソーパズルを作りました。



木製のうけどんジグソーパズル



吉田栄光町長に感謝の気持ちを



なみえ創成通信

学校の基本理念
子どもたちの生きる力と夢を育み、
地域の未来を切り拓く学校

11月19日(土)

文化教室「なみえの台所」(小学5・6年生、中学生)

株式会社ウエカツ水産代表取締役上田勝彦さんを講師に迎え、文化教室「なみえの台所」を実施しました。午前の部では中学生が、午後の部では5、6年生が、浪江の魚介類やお米、野菜を使った料理作りに親子で挑戦しました。

東京工業大学の木倉宏成先生と高橋秀治先生をはじめ、学生の皆さんにご協力いただき、映像配信システムを使って、十日市祭の会場へ配信しました。



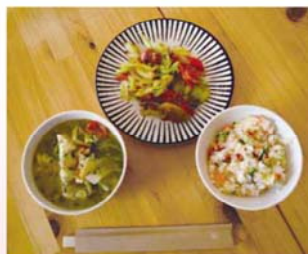
メニュー
鮭の早めし
秋のなみえアクアパッツァ
塩魚の野菜炒め



お米をしっかり洗ったよ



食材はやさしくね



お手本を見ながら



子供の成長を
優しく見守る

11月1日(火)~2日(水)

学習旅行(中学校)

中学1~3年生が宮城県に学習旅行に行ってきました。初日は松島に行き、午前中に松島湾クルーズ、午後は学年別研修を行いました。日本三景「松島」の素晴らしい景色を楽しむとともに、伝統文化にふれる機会になりました。2日目は、仙台市に場所を移して班別自主研修を行いました。それぞれ班ごとの計画に従って八木山動物園や仙台城趾、仙台市科学館など、いろいろなところを見学しました。道に迷うトラブルがあっても、班で協力しながら解決することができ、学びの多い充実した学習旅行になりました。



仙台城趾にて



松島離宮にて



「伊達武将隊」の皆さんと一緒に

なみえ創成小学校・中学校ブログ

なみえ創成

検索

☎ なみえ創成小学校

☎ 0240(23)5335

☎ なみえ創成中学校

☎ 0240(23)5336

◆ おらほの地域から元気発信 ◆

まちづくりなみえ 地域づくり支援専門員が見た幾世橋地区

地域の紹介

幾世橋地区

地区内の幾世橋、北幾世橋北・南行政区では草刈りや神社清掃といった環境整備活動が定期的に行われています。皆さん手際よく作業し、合間には「こういう活動があるからみんなに会えるんだよね」と近況を共有し合う様子から、`住民同士のつながり維持、と`地域活動、が深く関わっていると改めて実感し、自分たちの手で地域をきれいに保ち守っていくという思いが感じられます。

地域防災力向上を目指して、行政区長と町が協働で活動を始めました。『どこに誰が帰還しているのか』『高齢独居の住まいはどこか』など、以前とは違い、地区内の居住状況が把握しにくくなってきたことを課題に感じ、いざという時に役立つようなツールを検討しています。

農業の分野では、米、大豆、タマネギなど野菜各種、イチジク、花卉など様々な作物が栽培



神社の清掃活動



南棚塩の田園風景

されています。今年はソバも初めて栽培されました。タマネギ『浜の輝』は甘みがあり、そのままおいしいことはもちろん、スナック菓子にも加工されるなど人気上昇中の品種です。また、2年前からは南棚塩で米作りが再開され、田植え後は水面に写る青空、浜風にそよぐ苗など、とても爽やかな景色がひろがります。

環境美化、防災活動、農業などの様々な分野で地域の力を感じる幾世橋地区です。

地域づくり支援専門員
引地裕子がレポート
しました。



町のできごと

西台行政区

クリーン作戦実施

11月5日(土)、西台行政区において地域のごみ拾い活動『クリーン作戦』と応急手当講習会が実施されました。

クリーン作戦は、避難指示解除後の令和元年度から始まった取組で、今年で4回目となります。ゴミ拾いをしながら地域内を実際に歩いて回ることで、危険箇所の確認など見回りの効果も生まれ、住民による自治機能回復にもつながっています。



消防署職員による応急手当講習会



みんなでごみの分別作業



5つのルートに分かれごみ拾い

地域づくり支援専門員
今野聡がレポート
しました。



情報

問 問合せ
申 申込み
電 電話
FAX ファクス
E メールアドレス
U ホームページアドレス
D フリーダイヤル

ぴっくあっぷ

暮らし

がんばる浪江町！ プレミアム商品券

プレミアム付商品券は売切れのため販売終了となりました。取扱店が追加になりました。

● 中華料理 濃河

TEL 0240(23)5610

● 中国料理 景福

TEL 0240(23)7736

※使用期限（令和5年1月31日(火まで)を過ぎた場合は、払戻しできません。

問 産業振興課商工労働係
TEL 0240(34)0247

+ 浪江診療所 のお医者さん

問 浪江診療所 TEL 0240(23)6173

- 診療受付 8時30分～11時30分
13時30分～15時30分
- 場 所 浪江町役場本庁舎北西側
- 診療体制 本田医師(常勤)…月～金曜日
非常勤医師…月曜日(内科)
…木曜日(整形外科)
※ 祝日・年末年始を除く
(医師の都合により変更あり)
- 診療内容 内科・外科・整形外科

+ 仮設津島診療所 のお医者さん

問 仮設津島診療所 TEL 0243(24)1431

- 診療受付 8時30分～11時30分
13時30分～15時30分
- 1月 4日(水) 関根・西
5日(木) 関根・木村(皮膚科)
6日(金) 関根(午前)・玉井
10日(火) 関根
11日(水) 関根・西
12日(木) 関根・今村(婦人科)
13日(金) 関根
16日(月) 関根
17日(火) 関根
18日(水) 関根・西
19日(木) 関根・木村(皮膚科)
20日(金) 関根(午前)・玉井
23日(月) 関根
24日(火) 関根
25日(水) 関根・西
26日(木) 関根・今村(婦人科)
27日(金) 関根
30日(月) 関根
31日(火) 関根

(医師の都合により変更あり)

特定復興再生拠点 区域(室原・末森・ 津島拠点)の準備 宿泊について

9月1日(木)より、特定復興再生拠点区域(室原・末森・津島拠点)の立入規制が緩和され、準備宿泊が始まります。

準備宿泊を希望される人は次のとおり事前登録をお願いします。

▼ 準備宿泊の事前登録

準備宿泊受付コールセンター
TEL 0120(357)133

平日 8時～20時
土日・祝日 8時～17時

特定復興再生拠点 区域外の人への帰還 意向調査のお願い

特定復興再生拠点区域外の帰還意向確認書を11月下旬に対象の人へ郵送しています。回答がお済でない人は、お

※準備宿泊の対象となる人に、準備宿泊のご案内、準備宿泊のしおりを8月下旬に郵送しています。

※事前登録時には準備宿泊のご案内に記載のお問い合わせ番号が必要となります。

問 企画財政課企画調整係
TEL 0240(34)0240

水道管の凍結に ご注意

気温が氷点下4度以下になると水道管が凍結するおそれがあります。

▼ 凍結防止のポイント

- ・ 水抜栓で水を抜く
- ・ 水道管を保温
- ・ メータボックスの中を保温

▼ 凍結した場合

凍結箇所にはタオルを置き、上からぬるま湯をかける。

▼ 修繕が必要になった場合

町内での修繕は「浪江町指定給水工事事業者」に依頼してください。

問 住宅水道課上下水道係
TEL 0240(34)0231

特定復興再生拠点区域外の帰還意向確認書を11月下旬に対象の人へ郵送しています。回答がお済でない人は、お

「調査票に関する問合せ先」
「帰還意向調査」お問合せセンター
TEL 0120(171)311

8時30分～17時15分まで

※12月29日(木)～1月3日(火)までは休業となります。

問 企画財政課企画調整係
TEL 0240(34)0240

TEL 0240(34)0240

井戸水などの 飲用水の確保

町内に帰還し居住する人で、長期の避難生活により井戸や沢水が枯れて、使用できずに困っている人などを対象に、町で井戸の掘削を行います。

国の認定後に工事を行うため、着工までに半年以上の期間がかかりますので、帰還のための生活用水として、井戸水の使用を検討している人は、お早めに相談してください。

また、上水道を利用していた人や、水道管が近くにあるなど、条件により、対象とならない場合があります。

TEL 0240(34)0231

特定復興再生拠点 区域の地デジ難視聴 世帯の皆さんへ

町では、令和5年春の避難指示解除を目指す特定復興再生拠点区域の難視聴対策として、地上デジタル放送送信のための光ケーブルなどの施設の整備を進めています。

施設利用のためには、次の工事が必要です。

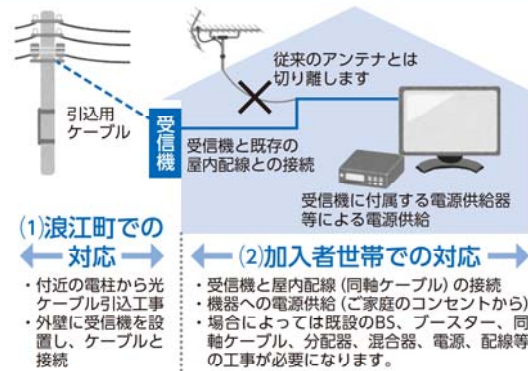
- (1) 家屋外壁への受信機の設置、引込用ケーブルの設置
- (2) (1)で設置した受信機と、屋内配線の接続

※(1)については、浪江町が施工し、加入者世帯へ貸し出します。

※(2)については(1)の完了後、加入者自身で電気店などに依頼していただき（費用は自己負担）整備することとなります。設置を希望される人は情報統計係までお問合せください。

▼**申込期限**
令和5年1月31日(火)

▼**利用料**
当分の間、無料とします。



(1)浪江町での対応

- ・付近の電柱から光ケーブル引込工事
- ・外壁に受信機を設置し、ケーブルと接続

(2)加入者世帯での対応

- ・受信機と屋内配線（同軸ケーブル）の接続
- ・機器への電源供給（ご家庭のコンセントから）
- ・場合によっては既設のBS、ブースター、同軸ケーブル、分配器、混合器、電源、配線等の工事が必要になります。

TEL 0240(34)0241

子供・子育て

浪江町子育て支援 家賃補助金制度

町内における子育て世帯の定住を推進するため、町内の賃貸住宅に入居する子育て世帯に対して、家賃の一部を補助します。

▼対象世帯

浪江町に住民登録があり、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある人と町内の賃貸住宅に同居、養育し、かつ家賃を支払っている世帯

※社宅、官舎、寮などの給与住宅や2親等以内の親族が所有する住宅に入居している場合は対象外です。

※福島県または浪江町から同様の家賃補助などを受けている場合は対象外です。

▼補助内容

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）に支払った家賃の一部（家賃の月額から勤務先の住宅手当などを差し引いた額の2分の1以内）。

※一世帯あたり月額3万円を

限度とします。

▼提出書類

- ・浪江町子育て支援家賃補助金交付認定申請書
- ・世帯全員の住民票の写し
- ・町税に滞納がないことを証する書類
- ・賃貸契約書の写し
- ・住宅手当が確認できる書類
- ※住宅手当が支給されていない場合も必要です。

※申請書はホームページからダウンロードしていただくか子育て支援係までご連絡ください。

▼**提出期限**
令和5年2月28日(火)

TEL 0240(34)0252

介護・福祉

重度心身障がい児童 福祉手当を支給

重度の心身障がい児童を養育している人へ重度心身障がい児童福祉手当を支給しています。受給資格は、本町に居住し、次のいずれかに該当す

- 1 特別児童扶養手当受給要件1級に該当する児童
- 2 身体障害者福祉法による身体障害者手帳の交付を受けた者で、障害の程度が2級以上または内部障害を持つ3級の児童
- 3 知的障害の状態にあるもので、障害の程度がA判定の療育手帳を交付されている児童

▼申請期日

令和5年2月28日(火)
※申請を希望する人は福祉係までご連絡ください。

TEL 0240(34)0238



保険・年金

国民年金基金制度のご案内

国民年金基金は、国民年金の第1号被保険者の皆さんがゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乘せする公的な年金制度で、65歳から生涯受け取ることができる終身年金です。掛金は、課税所得から控除でき、受け取る年金も公的年金等控除の対象になるので、税制面で優遇されます。

対象者は、20歳以上60歳未満の自営業者など国民年金に加入中の人やまたは60歳以上65歳未満の国民年金に任意加入中の人です。

☎ 全国国民年金基金南東北支部
0120(65)4192



税金

家屋を取り壊したら

固定資産税は、1月1日現在で土地・家屋・償却資産を所有している人に課税します。令和4年中に家屋を取り壊した場合は「家屋滅失届」を住民課に提出してください。現地を確認後、課税台帳から削除します。

※法務局への滅失登記が済んでいる場合や環境省による解体の場合は提出不要です。

申・問 住民課税務管理係
0240(34)0223

軽OSS・軽JNK Sのお知らせ

令和5年1月から軽自動車に係る新システムが開始されます。

■軽OSS（軽自動車ワンス トップサービス）

新車購入時の軽自動車保有関係手続きがインターネットで行えるようになるサービスです。

※スマートフォン・タブレット

からの申請はできません。

軽JNK S（軽自動車税納付確認システム）

継続検査（車検）窓口での納税証明書の提示が不要になります。

※納付情報がシステムに反映されるまでに、一定の日数を要します。納付後すぐに車検を受けるなどお急ぎの際は納税証明書の提示が必要です。

▼対象車両
軽自動車（三輪・四輪）

※二輪・原付・小型特殊は対象外です。
詳しくは地方税共同機構のホームページをご確認ください。



問 住民課税係
0240(34)0224

イベント・募集

司法書士の

無料相談会が開催

相続登記や土地・建物の不動産登記、成年後見などの相談（要予約）ができます。

▼日時

令和5年1月19日(木)
13時～16時

※各45分間の計4枠。
※お申込みは先着順です。

▼場所

浪江町役場本庁舎1階
第一行政相談室

問 総務課賠償支援係
0240(34)4638

親子料理教室

ふれあい交流センターにおいて町民を対象とした「お子様ランチ作り料理教室」を開催します。講師には管理栄養士の鈴木悠美子さんをお招きします。

▼開催日時

令和5年1月21日(土)
10時～12時

▼募集人数

2～3人を1組として5組

▼準備物

手ふきタオル、前掛け、三角巾

▼申込（先着順）

令和5年1月16日(月)までにふれあい交流センターへ参加費（1人700円）を添えて、お申込みください。

申・問 ふれあい交流センター
0240(23)5601

就職面接・説明会

就職面接会 in 南相馬

求職者向けの説明会を南相馬市の福島ロボットテストフィールドで開催します。

▼日時

令和5年1月27日(金)
13時30分～15時

▼予約

電話またはホームページから予約できます。



※入場は予約者優先

オンライン企業説明会

オンラインによる企業説明会を開催します。

▼日時（途中参加可）

令和5年1月20日(金)
13時30分～16時

▼参加方法

オンライン（Zoom）

▼申込方法

電話またはホームページから申込できます。

▼申込期限

令和5年1月15日(日)まで

問・申 福島広域雇用促進支援協議会福島統括窓口

024(524)2121



津島住宅団地(仮称)の入居予定者を募集します

受付期間 1月10日(火)～1月27日(金) ※必着

令和5年春の避難指示解除を目標に特定復興再生拠点区域津島拠点内に整備を進めている福島再生賃貸住宅町営津島住宅団地(仮称)の入居予定者を募集します。

※福島再生賃貸住宅は、住民の帰還と新規移転者の移転を促進し、地域の再生を活性化させるために国の福島再生加速化交付金を活用して町が整備・供給する公的賃貸住宅です。

【募集する住宅の概要】

住宅名称	所在地	住宅概要	想定家賃 (※)減額後の家賃	入居予定 時期	備考
津島住宅団地 (仮称)	下津島 字松木山内	木造平屋戸建 (82～83㎡) 2LDK/1戸 3LDK/7戸	9,600円(※) ～51,600円	令和5年 4月以降	オール電化住宅 駐車場2台分付 ペット可

※家賃・床面積は現時点での想定であるため、今後変更となる場合があります。

※家賃とは別に共益費、光熱水費、浄化槽の清掃費などががかかります。

※入居時に家賃とは別に敷金として家賃の3か月分を納めていただきます。

【入居資格】

所得が487,000円以下(※)である次のいずれかの人

- ①平成23年3月11日に町内に居住していた人
- ②浪江町に移転する人

※(所得額－控除額) ÷ 12ヶ月 ≤ 487,000円



【申込方法】

募集要項(詳細資料/申込書)を住宅係に請求するか町ホームページからダウンロードし、申込書に必要書類を添付の上、郵送(※必着)または窓口でお申込みください。

【提出先】

窓口の場合：住宅水道課住宅係、津島支所、各出張所
(福島・二本松・いわき)

郵送の場合：〒979-1592
浪江町大字幾世橋字六反田7-2
住宅水道課住宅係



申・問 住宅水道課住宅係 TEL 0240(34)0232

ここから下は広告です。

弥平迫遺跡発掘調査現場の公開

畜産施設整備事業に伴い、町教育委員会で実施している弥平迫遺跡の発掘調査では、古墳時代から奈良時代にかけての竪穴住居跡が多数発見されました。現在調査中ですが、現場公開を実施します。

※発掘現場の見学は予約不要・無料です。

※汚れてもよい服装と靴でお越しください。

【日時】令和5年1月21日(土) 10時から14時(雨天中止)

【場所】弥平迫遺跡発掘調査現場

(浪江町大字棚塩字弥平迫29-2) 駐車場あり



竪穴住居跡で見つかった土器

問 浪江町教育委員会郷土文化係
TEL 0240(23)5601

「ベジチェック」で豊かな食生活を!



ベジチェックとは、手のひらをセンサーにあてるだけで、推定野菜摂取量を数値化してくれる測定器のことです。生活習慣病予防に欠かせない野菜をしっかりと摂取できているか測定してみませんか。

予約不要・無料でご自由に測定できますので、お気軽にベジチェックをご利用ください。測定後は食事改善の方法などを相談できます。

▶測定場所 浪江町役場 1階 健康保険課前

問 健康保険課国保年金係 TEL 0240(34)0242

ご寄贈いただきました!

- 三洋工業株式会社様および株式会社福島銀行様より、ふれあいげんきパークを利用する子供たちがのびのび遊べるように「マジックマット」をご寄贈いただきました。



問 教育委員会事務局子育て支援係 TEL 0240(34)0252

合併処理浄化槽、単独槽、くみとり便槽維持管理費補助金

合併処理浄化槽などを適正に維持管理している人を対象に補助金を交付します。

【補助対象者】

- いずれかの対象者のうち、次の交付条件(1)から(3)全てに該当する人
- ・平成23年3月11日時点で浪江町民だった人
 - ・水道料金など免除の申請時において、浪江町に住民登録のある人
 - ・浪江町が発行する被災証明書の交付があった人
- (1)住宅や併用住宅（居住部分が延べ床面積2分の1以上）などにおいて浄化槽などを設置している。
 - (2)令和4年度において、保守点検、清掃および法定検査（浄化槽法第7条もしくは第11条検査）を年1回以上行っている。
 - (3)町税などを滞納していない。

【補助金】

最大5万円（令和4年4月1日～令和5年3月31日の管理費）

【申請期限】

令和5年3月31日(金)

申込方法や必要書類など詳しくはホームページをご確認ください。

申・問 住宅水道課料金会計係
TEL 0240(34)0234

生ごみ処理容器等 設置報奨金の申請受付中

家庭における生ごみの有効利用および減量化の推進と生ごみ減量化啓発のため、生ごみ処理容器などを購入された人に対し報奨金を交付しています。

※交付総額が予算の上限に達した場合は事業を終了します。

▶ 報奨金の交付額

購入金額の2分の1（上限30,000円まで）

▶ 交付対象（全てに該当する人）

① 町内に住民票があり、居住している

※避難先での使用は対象外

② 町税に未納がない

③ 生ごみ処理容器を設置できる敷地を有している

④ 堆肥化したごみを有効処理できる

⑤ 買替えの場合、以前の報奨金交付から5年以上経過している

▶ 申請時必要書類

① 報奨金交付申請（請求）書

② 領収証（原本）

③ 振込口座がわかる通帳の写し

④ 商品のパンフレットまたはカタログ （メーカー、型番、仕様・性能がわかるもの）

問 住民課除染環境係 TEL 0240(34)0228

マイナポイントの申込手続 はお済みですか？



マイナポイントの申込期限は、2月
末までとなっています。（令和4年12
月末までにマイナンバーカード申請済の人限定）

まだ申込手続がお済みでない場合は、お早めにお手
続きしてください。

最大 **20,000** 円分の
マイナポイントがもらえる！

マイナンバーカードの 新規取得等で 最大 5,000 円分	健康保険証としての 利用申込みで 7,500 円分	公金受取口座の登録で 7,500 円分
--	--	-------------------------------

※公金受取口座の登録とは、国民の皆さまが金融機
関にお持ちの預貯金口座について、一人一口座、
給付金などの受取口座として、国（デジタル庁）
に任意で登録していただく制度です。

【マイナポイント申込】

お手持ちのパソコン、
スマートフォンまたは郵
便局などのお近くのマイ
ナスポットで申込手続き
ができます。

マイナ
スポットは
このマークが
E印！



問 住民課住民係 TEL 0240(34)0230

文部科学省 原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)から皆さんへ

「東京電力から示された金額では納得できない」など、原発事故による損害賠償請求において困っている人
を対象に、中立・公平な国の機関「ADRセンター」が無料で仲介します。

☎0120(377)155（月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）10時～17時）

《和解事例》 浪江町に居住していた申立人ら（夫婦、子、夫の母）について、妻が近隣の介護施設に入居し
ていた夫の母（身体障害等級2級）を毎日のように見舞っていたところ、原発事故により、夫婦が郡山市へ、夫
の母が他県の介護施設へ移動を余儀なくされ、その後も妻が夫の母へ食品や衣類を届けるなど世話を定期的
に行ったことを考慮して、日常生活阻害慰謝料（増額分）として、家族別離にかかる一時金として20万円が
認められた。また、妻は介護者として、夫の母は要介護状態にあった者として、平成23年3月から平成30年
3月までの期間についていずれも月額3万円が認められた。加えて、妻は、避難による就労不能損害として、
東京電力に対する直接請求では認められなかった平成28年3月から6月までの支払いが一部認められた。

【公表番号1782・令和3年8月5日成立】

《和解事例》 浪江町において理容業を営んでいた申立人について、原発事故前に一時休業していたものの、平
成23年4月までに営業再開を予定しており、営業再開の蓋然性が高かったと認め、平成23年3月から平成28年
2月まで営業できなかったことによる逸失利益及び原発事故により価値の失われた営業用資産の財物損害が、
いずれも原発事故の影響割合を考慮して、一部認められた。【公表番号1778・令和3年7月30日成立】

※これらは、申立人の個別事情に基づいた和解例であり、一般的に適用される基準ではありません。

問 総務課賠償支援係 TEL 0240(34)4638

町内空間線量測定結果

☎ 総務課防災安全係 ☎ 0240(34)0229

原子力規制委員会のモニタリングポストが設置されていない地点の空間線量測定結果をお知らせします。
シンチレーション式サーベイメータにより、地上1メートル地点の測定値を掲載しています。

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

地区	測定地点	測定値
浪江	新町セブンイレブン付近	0.09
	常磐線陸橋東側	0.12
	常磐線陸橋西側	0.17
	川添字小丸田地内	0.38
	国道6号高瀬交差点付近	0.06
	高瀬字小高瀬迫地内	0.20
幾世橋	貴布祢	0.11
	北幾世橋字町尻地内	0.12
	北幾世橋字荒井前地内	0.09
	棚塩字弥平迫地内	0.09
	浪江にじいろこども園	0.08
請戸	請戸橋南側	0.07
	請戸漁港	0.07
	震災遺構浪江町立請戸小学校	0.08
	中浜字西原地内	0.04
	両竹字的場地内	0.06
大堀	小丸字赤下地内	0.99
	小丸字三程地内	0.36

地区	測定地点	測定値	
大堀	畑川集会所	0.46	
	荻野	立野字根渡地内	0.29
		酒田字上原地内	0.25
		国道114号仙人沢トンネル南側	1.34
		室原字小萱地内	0.36
		室原字堀知木地内	0.48
		加倉スクリーニング場	0.51
		加倉ローソン付近	0.24
		藤橋字善明迫地内	0.08
		藤橋不動尊前	0.11
		津島	津島字水境地内
津島字仲野作地内			1.76
津島字谷津地内	0.65		
津島字町前地内	0.37		
浪江町役場旧津島支所	0.53		
赤宇木字梶平地内	1.62		
屋曾根字尺石地内	2.19		

*測定日は12月1日(木)です。

自家消費食品などの放射能簡易分析結果

☎ 健康保険課放射線対策係 ☎ 0240(34)0261

町は、自家消費食品などの安全・安心のため、食品中の放射能を測る機器を配備し、放射性物質の測定を行っています。

■11月の分析結果

全ての検体		基準値以上検出された検体		
区分	検体数	品名	基準値を超えた検体数	最大値 (Bq/kg) *
野菜	11		0	
果実	43		0	
魚	0		0	
山菜、キノコ類	4		0	
米	0		0	
その他	1		0	
水(井戸水・湧水など)	0		0	
合計	59		0	

* 基準値を超えた検体数が複数の場合は、数値の一番高いものを記載しています。

食品衛生法における基準値
(セシウム134、セシウム137の合算値)

- 一般食品……………100 Bq/kg
- 飲料水…………… 10 Bq/kg
- 牛乳、乳幼児用食品… 50 Bq/kg

※ 検出下限値25Bq/kgを超える検体の掲載は除いています。

正確な測定をするために、食品であれば500グラム以上、水であれば2リットル程度必要です。

※ 帰還困難区域以外のものを受付しています。

自家消費食品などの簡易測定は、浪江町役場本庁舎で随時受付しています。

検査受付は原則平日のみになります。

※ 採取地など詳しくは、ホームページをご覧ください。

ここからは広告です。

わたしたちのまち

(令和4年11月末現在)

人	□	15,633人
男		7,722人
女		7,911人
世帯数		6,681世帯
問 住民課住民係	☎	0240(34)0230
居住人口		1,934人
居住世帯数		1,189世帯
※計上根拠…避難住民届、転入届など		
問 総務課防災安全係	☎	0240(34)0229

お誕生

出生届は14日以内に

こどもの名	性別	親の名	住所
10月			
西 穂 音	女	和樹・美穂	請 戸
大 島 杏 優	女	英一・麻美	権 現 堂
鈴 木 界 惟 仁	男	健人・美佳	幾 世 橋
11月			
高 橋 侑 紀 菫	女	貞夫・麻紀子	酒 井

お悔やみ

死亡届は7日以内に

死亡者名	年齢	住所
10月		
福 田 千 奈 美	57歳	幾 世 橋
11月		
荒 川 サキヨ	88歳	西 台
金 井 庸 子	86歳	請 戸
桑 原 弘 樹	50歳	田 尻
佐 藤 ヨシ子	93歳	下 津 島
谷 田 き よ	80歳	権 現 堂
半 谷 辰 雄	90歳	大 堀
山 田 恵 比 子	87歳	井 手
横 山 シヅ子	92歳	立 野
渡 邊 恒 子	93歳	加 倉



お誕生・お悔やみ欄は、ご家族に確認が取れた人を掲載しています。
 問 企画財政課情報統計係
 ☎ 0240(34)0241

避難状況 (11月30日現在)

都道府県	人数	対10/31	都道府県	人数	対10/31
北海道	57	0	滋賀県	5	0
青森県	40	-1	京都府	31	0
岩手県	37	0	大阪府	63	1
宮城県	913	-3	兵庫県	22	0
秋田県	40	0	奈良県	6	0
山形県	110	1	和歌山県	0	0
福島県	13,604	-19	鳥取県	0	0
茨城県	958	2	島根県	5	0
栃木県	445	-2	岡山県	23	0
群馬県	132	0	広島県	8	0
埼玉県	659	3	山口県	1	0
千葉県	557	-1	徳島県	1	0
東京都	790	0	香川県	5	0
神奈川県	417	0	愛媛県	10	0
新潟県	280	-3	高知県	5	0
富山県	14	0	福岡県	21	0
石川県	24	0	佐賀県	4	0
福井県	8	0	長崎県	11	0
山梨県	37	0	熊本県	6	0
長野県	52	-2	大分県	5	0
岐阜県	18	0	宮崎県	10	0
静岡県	54	1	鹿児島県	8	0
愛知県	34	-1	沖縄県	18	0
三重県	7	0	国 外	14	1

消防署からのお知らせ

明けましておめでとうございます。 皆様のご健康とご多幸を お祈り申し上げます。

1月は火災や救急の多い月です！

空気が乾燥し火災が発生しやすい季節です。また、**飲食に関する救急事案が多い月**でもあります。大切な命、財産を守るために以下の点を心がけましょう！

- 外出時や就寝前は必ず火の元を確認する。
- 暖房器具は燃えやすいものから離して使用する。
- 子供に煙と火の怖さを普段から教える。
- 寝室には住宅用火災警報器を設置する。
- 餅を食べる際は、咀嚼して窒息を防止する。
- 新年会などでの暴飲暴食を控える。

1月26日は文化財防火デーです！

これは、世界最古の木造建造物であった法隆寺金堂の火災を機に**国民の文化財愛護に関する意識の高揚、防災体制の確立を図るために**制定されました。この機会に地域の文化財守る体制について考えてみましょう。

火事と救急は119番

〔消防署〕 浪江消防署 ☎ 0240(34)4111
 〔連絡先〕 葛尾出張所 ☎ 0240(29)2119



スマホ・タブレット・アプリ 講習会や相談会を実施中！



01

お気軽にどうぞ！ 浜セン相談会

分からない事、なんでもお答えします！役場の担当職員や浜センスタッフ、東京大学の学生さんが個別で相談にのります。

予約不要・どなたでも歓迎

- 日 時：1月13日(金)、1月27日(金)
各日10時～12時まで
- 場 所：浜通り地域デザインセンターなみえ
(浪江町大字権現堂字上続町11-3)

02

コーヒー飲みながら楽しく！ なみえ・スクール in コーヒータイム

基本的な操作方法や分からない事の相談のほかに、ラインの登録方法やビデオ電話の使い方を紹介します。

事前申込制・先着15名程度
65歳以上の人優先

- 日 時：1月17日(火) 13時～15時
- 場 所：ふれあい福祉センター内
コーヒータイム おれんじカフェ
(浪江町大字権現堂字矢沢町6-1)

飲食料
別途必要

問 企画財政課情報統計係 Tel 0240(34)0241

連絡先一覧

- 浪江町役場
〒979-1592 浪江町大字幾世橋字六反田7-2
Tel 0240(34)2111 Fax 0240(35)5352
- 二本松出張所
〒964-0875 二本松市槻木253-8
Tel 0243(62)0123 Fax 0243(22)0212
- 福島出張所
〒960-8141 福島市渡利字舟場2-1
Tel 024(529)7451 Fax 024(529)7452
- いわき出張所
〒970-8025 いわき市平南白土一丁目5-12
Tel 0246(24)0020 Fax 0246(24)0026
- 津島支所
〒979-1756 浪江町大字下津島字松木山22-1
Tel 0240(36)2111 Fax 0240(36)2158
- 浪江町議会事務局
〒979-1592 浪江町大字幾世橋字六反田7-2
Tel 0240(34)0254 Fax 0240(34)0264
- 浪江町教育委員会
〒979-1592 浪江町大字幾世橋字六反田7-2
Tel 0240(34)5710 Fax 0240(34)3659
- 秋桜アリーナ (浪江町地域スポーツセンター)
〒979-1521 浪江町大字権現堂字下馬洗田5-2
Tel 0240(34)3941 Fax 0240(35)5885
- ふれあいセンターなみえ
〒979-1521 浪江町大字権現堂字矢沢町6-1
ふれあい福祉センター Tel 0240(23)5314
ふれあい交流センター Tel 0240(23)5601
ふれあいげんきパーク Tel 0240(23)5233
ふれあいグラウンド Tel 0240(34)3941
- 浪江診療所
〒979-1513 浪江町大字幾世橋字六反田7-2
Tel 0240(23)6173 Fax 0240(34)2188
- 仮設津島診療所
〒969-1404 二本松市油井字大窪118
Tel 0243(24)1431 Fax 0243(24)1438
- 浪江町社会福祉協議会
〒979-1521 浪江町大字権現堂字矢沢町6-1
Tel 0240(34)4685 Fax 0240(35)5555

ここからは広告です。

ふくしま駅伝大会町の部入賞および選手の募集

11月20日(日)、第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）が開催され、しらかわカタルスポーツパーク（白河総合運動公園）陸上競技場から福島県庁までの16区間95.0kmを競い合いました。

浪江町は総合24位、町の部では8位と震災以降では最高位の結果となり、3年連続の入賞となりました。応援ありがとうございました。



浪江町選手団 (敬称略)	監督	佐藤 晋	代表選手	1区	石井あゆみ	2区	山本峻介	3区	西原侑祐	4区	吉田龍平
	コーチ	吉田信一		5区	田中滉大	6区	出澤侑也	7区	半谷彪真	8区	吉田瑛祐
		木村郁也		9区	根本歩奈	10区	金山裕生	11区	中野風夏	12区	吉田龍司
	主将	山本峻介		13区	今野涼太	14区	石井京輔	15区	大場ひなり	16区	山本幸輝

年間スケジュール予定

- ・ 4月下旬 春季合宿
- ・ 8月 夏季合宿、駅伝コース試走
- ・ 9～10月 最終調整合宿
- ・ 10月下旬 最終選手エントリー
- ・ 11月19日 第35回ふくしま駅伝大会（白河市～福島市）

大会出場!
 ※駅伝に興味のある人、脚力に自信のある人（陸上部やランナーズクラブ所属など有無は問いません）
 ※県外に避難している人で合宿や練習などに参加が難しい場合は、避難先での活動を参考にします。

問 教育委員会生涯学習係 Tel 0240(34)3941

駅伝ランナーを募集

浪江町には、果敢にチャレンジする人たちがいる。チャレンジする人が増えていけば、浪江町はもっと早く走れる。浪江町と一緒に走ろう!



なみえプロモーション課通信 Vol.16

新年あけましておめでとうございます。なみえプロモーション課の関根です。令和3年7月になみえプロモーション課の一員として活動し始め、これまでに地域おこし協力隊としてイベントを始め様々な活動に参加させていただきました。

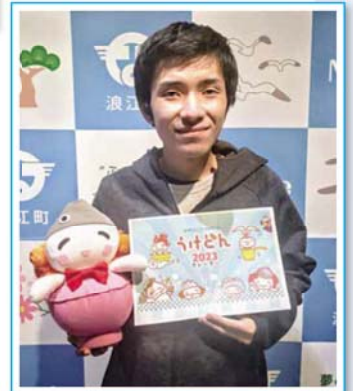
11月には浪江の元気を発信した「復興なみえ町十日市祭」が、新型コロナウイルス感染拡大による中止を経て3年ぶりに、私が浪江町に移住してから初めて開催されました。

浪江町に移住してから、十日市祭は「双葉郡で一番大きなイベント」として話を聞く機会は何度もありました。実際に自分の目で見て、浪江町の復興の力強さを感じたいと思っていたので、当日、沢山の露店が並び多くの人で賑わう様子や町の人の笑顔を見ることができ、とても感慨深かったです。

また、協力隊の活動としては、浪江町役場企画財政課で企画している「うけどんカレンダー2023」の制作に参加させていただきました！私が主に担当したのは月ごとのテーマ設定や写真への解説コメントと、うけどんファミリーがしゃべっているセリフです。うけどんファミリーの浪江弁での掛け合いや短い文章で写真の解説を考えるのは難しいところもありましたが、それ以上に楽しくてやりがいのある仕事でした。

なみえプロモーション課として、今年もなみえらしさを「見つける・創る・広める」を目標に活動していきたいと思っています。今後の活動を見据え、復興に向けて着実に前に進んでいる浪江町に負けないくらい、自分に変化を起し成長できる1年にしていきます。

※「うけどんカレンダー2023」の配布先はアプリ「なみえ新聞」でご案内しています。また、町ホームページでカレンダーのデータを公開しています。



問 なみえプロモーション課 Tel 070(1397)2972